

募集

講演・発表会等アーカイブの

オンデマンド配信 視聴参加の募集について

当協会では、教育改善のための教育方法、教材開発、教育支援へのICT活用に関する様々な会議、発表会等を開催し、講演、実践事例の紹介などを行っていますが、これをデジタルアーカイブし、大学教職員の方々にファカルティ・ディベロップメント(FD)、スタッフ・ディベロップメント(SD)の研究資料として活用いただくため、オンデマンドで配信しております。大学では、教員の教育力向上と職員の教育・学習支援として、また、賛助会員企業では、大学での教育ICT活用と教育環境の整備を理解するための情報収集として、ぜひお役立て下さい。詳細は本ページ末のURLよりご覧下さい。

●内容

当協会で実施した会議、発表会等の講演・事例紹介のVTRにプレゼンテーションのスライドを同期させたコンテンツおよびレジュメで、配信の許諾が得られたものです。ただし、質疑応答、討議、本協会の活動紹介などは除きます。

<対象とする会議、発表会等>

ICT利用による教育改善研究発表会、教育改革FD/ICT理事長学長等会議、教育改革ICT戦略大会、短期大学教育改革ICT戦略会議、教育改革事務部門管理者会議、大学情報セキュリティ研究講習会、FDのための情報技術研究講習会です。

●コンテンツ数

平成25年度：約140件
平成24年度：144件
平成23年度：146件

●申込単位と利用者

- 正会員（学校法人）、賛助会員（企業）
- 加盟大学・短期大学の教職員および賛助会員企業の社員で、利用者数の制限はありません

せん（学生は対象外とします）。

●申し込みと配信期限

参加申し込み受付：随時受け付けます。
配信期間：平成25年12月1日～平成26年11月30日
(継続配信は再度、お申し込みいただきます)

●配信分担金

申込み日から平成26年11月30日までの金額となります。
4月1日以降は消費税増税により金額が上がります。

○正会員

学生収容定員	視聴コンテンツ			
	25年度分のみ	24年度分のみ	23年度分のみ	25年度と24年度
7,000人以下	31,500円	3,150円	0円	34,650円
10,000人以下	42,000円	4,200円	0円	46,200円
10,001人以上	52,500円	5,250円	0円	57,750円

※学生収容定員の算定方法は、正会員設置の加盟大学・短期大学の学生収容定員の合計とします。

○賛助会員（一律の金額）

視聴コンテンツ			
25年度分のみ	24年度分のみ	23年度分のみ	25年度と24年度
42,000円	4,200円	0円	46,200円

●利用環境

追加アドオンソフト(Microsoft Office Animation Runtime)がインストールされていること。

●問い合わせ

公益社団法人 私立大学情報教育協会
TEL：03-3261-2798 FAX：03-3261-5473
E-mail:info@juce.jp
<http://www.juce.jp/ondemand/>

オンデマンド配信の画面イメージ

講演・発表のデジタルアーカイブをネット配信
教育方法、大学改革、教育支援等

教育方法、教材開発、大学改革の戦略、教育支援等に関する様々な講演・発表のVTRやスライドをデジタルアーカイブし、3年分のコンテンツをオンデマンド配信しています。大学におけるファカルティ・ディベロップメントやスタッフ・ディベロップメントや、賛助会員企業における大学の教育環境の理解のために、ぜひ活用ください。

デジタル・アーカイブを視聴する

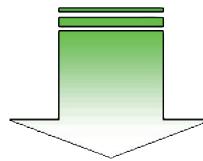
▶ 視聴には申込みが必要です。詳しくは [こちら](#)

【分野別インデックス】

サンプルコンテンツ

25年度 公益社団法人 私立大学情報教育協会コンテンツオンデマンド配信							イベント別インデックスはこちら
お断り ゴーデンツによっては、収録時の機材調整の不具合により、画像、音声の品質の良くないものがあります。予めご了承願います。							イベント別インデックス
平成25年度 ICT利用による教育改善研究会							
※パワーポイント以外で発表しているムービーについては、別途、VTRを用意しました。該当する時間に明記しています。							
発表番号	発表題目	大学名	研究発表者	分野	ゴーデンツ	パワーポイント以外で発表しているムービー※	備考
A-01	学修を実質化したICTを活用した導入科目の設計と実施	法政大学	佐々木 晃	情報専門	レジュメ スライドの PDF		
A-02	データ可視化および組み込みプログラミングを用いたソフトウェア開発学習の読み込み	東海大学	坂田 善司	情報専門	レジュメ ムービー		
A-03	eラーニング利用による反転学習を取り入れたプログラミング教育の実践	千葉科学技	林 康弘	情報専門	レジュメ ムービー		
A-04	転写禁止型のプログラム作成・実行・評価用 Web アプリによる初期プログラミング教育の実験事例	金沢工業大	堀田 英一	情報専門	レジュメ		レジュメのみ
A-05	テキストマイニングを用いた自学自習による情報リテラシー教育におけるアンケート評価分析	青山学院大	中鉢 直宏	情報基礎	レジュメ ムービー		
A-06	個別学習から協同学習への掛け一カリニア教育を意識した主導的学び活動の実現	九州女子大	木村 美奈子	情報基礎	レジュメ スライドの PDF		
A-07	e-Learningシステムにおける中国語教育プラットフォームの構築とその活用	久留米大学	李 健	語学	レジュメ ムービー		
A-08	Moodleを用いた教室外学習を伴うスペイン語入門授業について	東海大学	結城 健太郎	語学	レジュメ ムービー		
A-09	短期集中日本語講習におけるICT活用の実像とその展望	埼玉国際大	尾本 康裕	語学	レジュメ スライドの PDF		
A-10	コミュニケーションスキルを育成する実践的なカリキュラム開発	関西大学	田上 正範	初年次	レジュメ		レジュメのみ

【イベント別インデックス】



学びと教育の「見える化」

学習到達目標・シラバス・学修ポートフォリオ

教育理念
1.
2.
3.

実現化
1.
2.

シラバス
【学習到達目標】

0.07.13 / 0.31.08

問題作成
全ての過程

CBT(Computer based testing)システムの導入

7 - 4

含む歯学特有の問題も電子化して蓄積

高校教育⇒大学入学者選抜⇒大学教育

- これからの時代に必要な力・生涯を通じ不斷に学ぶ力、予想外の事態を自らの力で乗り越えることができる力、グローバル化に対応しうる社会づくりに貢献することのできる力など。
- これらの力を育むには:各教育段階での教育目標と教育段階相互の関係づけが大切。
- 各学校段階が教育目標を持ち、目標達成
- 大学教育: 受け身の教育 → 大学教育の質的転換
主体的学習力など
- 大学入学者選抜:
各大学の教育水準や教育の質の評価指標
大学進学希望者の学力・意欲・適性の判定
高校における学力の状況の把握
高校における幅広い学習の確保
高校生の学習意欲の喚起
- 志願者の学力・意欲・適性・総合的能力等の多面的・総合的な評価など
- 高校教育:
受け身の教育 → 高校教育の質保証
学習到達度テスト、教養教育、主体的学習力など

【コンテンツ例】